

人権学習展開例

第2学年

- 主題名 ありのままの自分で生きられる社会に向けて
- 教材名 さまざまな性について考えよう
- 人権学習の視点 個別的な視点「様々な人権問題（性的指向・性自認）」
- 主題・教材について

いわゆるLGBT等についての社会的な認知が高まる一方で、性的指向や性自認を理由として学校生活で悩みを抱えて孤立したり、いじめや不登校につながることも懸念される。それを防止するためには、子どもたちへ肯定的なメッセージを発信するとともに、一人一人が人権感覚を鋭くし、多様性を受け入れる心情を養うことが大切である。

本教材を通して、多様な性の在り方について理解や認識を深め、また、ありのままの自分を表現できない苦しみや自分自身を受け入れられない葛藤に触れ、人権尊重の視点に立って、すべての生徒が問題解決の主体者であるという自覚を高める機会としたい。

●ねらい

性的指向や性自認についての理解を深め、多様な性の在り方やLGBT等の概念について正しく理解・認識させることで、性的指向や性自認を理由とする偏見や差別をなくそうとする意欲・態度を身に付けさせる。

●関連する教材

人権学習資料集 小学校編Ⅳ「14 いろいろな性ってなんだろう？」(第4学年用)

●本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	ありのままの自分で生きられる社会を考える。				
	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。	○クラスの中に当事者がいるという視点に立ち、授業を展開する。	
展開	多様な性の在り方について理解する。				
	○多様な性の在り方について理解させる。	一斉	○配布資料を読み、多様な性の在り方があることを理解する。 ○性的マイノリティ(少数者)、LGBTについて理解し、性の在り方は単純に線引きのできるものではないことを理解する。	○性の在り方は他にもあるが、ここでは「身体」「心」「好き」の3つに整理して説明する。 ○「性自認」と「性的指向」について正しく理解させ、その組み合わせは人それぞれであることを押さえる。	配布資料

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
展開	○手記を読ませ、性的マイノリティの人たちの困り事や悩みを想像させる。	個別	○手記を読み、性的マイノリティの人たちの困り事や悩みを想像してワークシートに記入する。	○手記から筆者の心の葛藤や悩みを感じとらせ、想像を広げさせる。	ワークシート
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #ADD8E6; padding: 10px; display: inline-block;"> 誰もがありのままの自分で生きられる社会にするために、一人一人ができることは何でしょうか。 </div>				
	○誰もが生きやすい社会をつくるために、自分にできることを考え、交流させる。	グループ 一斉	○ありのままの自分を表現し、安心して暮らせる社会、クラスにするために、自分ができることを考え、交流する。 ○グループで出た意見を発表し交流する。	○日常生活で出会う具体的な場面を示して考えさせるとともに、自分自身がありのままの自分を表現できているかを問いかけ、自分のこととして考えさせる。 ○正しい知識を持ち、多様性を理解した上で、相手の立場に立つことの大切さを考えさせ、「自分とは違うもの」に偏見を持つことは差別につながる可能性があることを理解させる。	
まとめ	○本時のまとめをする。	個別	○本時の学習を振り返り、自分が感じたことや考えたことをまとめて、ワークシートに記入する。	○誰もが自分事として取り組むことで、ありのままの自分を表現し、安心して暮らせる社会、クラスを作ることができる展望を持たせる。	

●評価

性的指向や性自認についての理解を深め、多様な性の在り方やLGBT等の概念について正しく理解・認識することで、性的指向や性自認を理由とする偏見や差別をなくそうとしているか。

<指導上の留意点>

実施にあたっては、学級の生徒の状況や保護者の思いなどに十分留意すること。